



緑陽

令和3年9月24日発行

音更町立緑陽台小学校

学校便り No. 6

楽しく学ぶ！～充実の秋～

さわやかな秋晴れが続くなか、9月の終わりを迎えました。子どもたちは、三密を避け、手指の消毒や手洗いを徹底し、黙食、マスクを着用し大声を出さないなど、学校の新しい生活様式を続けています。そんななか、緊急事態措置が30日(木)まで延長されたことで、22日(水)に予定していた運動会はかたちを変え、「緑小スポーツの日」として感染症防止対策を徹底し、規模を縮小して実施することになりました。そして10月7日(木)・8日(金)には、6年生の修学旅行を予定しています。このとき本人及び同居家族に風邪症状がある場合、修学旅行への参加を見合わせるようになっていきます。各ご家庭での体調管理に特段のご配慮をいただきたいと思います。

長引くコロナ禍。このような先が見えない状況がいつまで続くのか、誰も答えを見いだせずにあります。私たち教職員は、「子どもたちがマスクをせずに大声で笑い、思いっきり遊んだり勉強したりする日は必ず来る！」と信じて、今できることは何かをしっかりと考え、全力で取り組んでまいります。これからも、保護者・地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、前期の子どもの成長については10月1日「みどりのめ」でお伝えいたしますが、学校は子どもたちが「確かな学力」を身につけるため、各教科ともに観点別学習状況（知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）の評価を行い、一人一人の学習状況を把握し個に応じた指導を行っています。また、評価を指導に生かすことで、子どものよさや可能性を引き出しやる気を起こさせるように努めています。

子どもの成長を見ると、私たち大人はつい課題が目につき、指導や注意が多くなってしまいます。そこをぐっとこらえ、子どものよさを見つけて褒め、励まし、可能性を広げられるように接することができれば最高です。このあと前期「みどりのめ」をご覧になるときは、是非、お子さんが自分を価値ある存在として認められるよう、意識してポジティブな言葉かけをしていただければと思います。



10月の予定

- | | |
|---|--------------------|
| 1日(金) 前期「みどりのめ」配布
後期児童会役員選挙 | 18日(月) 町校長会議、町教頭会議 |
| 6日(水) 研修日 | 19日(火) 一日防災学校 |
| 7日(木) } 修学旅行(6年) | 20日(水) 研修日 |
| 8日(金) } | 21日(木) } 宿泊学習(5年) |
| 13日(水) 二計測・視力検査(～15日(金))
職員会議、放課後子ども教室 | 22日(金) } |
| 14日(木) 防犯教室(1・2年) | 24日(土) 開校記念日 |
| 15日(金) 児童会 | 25日(月) 放課後子ども教室 |
| | 27日(水) 学級経営交流会 |
| | 29日(金) 児童会総会 |



学校評価アンケート結果

そう思う5点 だいたいそう思う4点 あまりそう思わない2点 ぜんぜん思わない1点 で平均を出しています

確かな学力の定着

	児童	保護者	教職員
「わかりやすい授業」を目指し授業方法を工夫している (児童：授業は楽しく、内容がよく分かる)	4.4	4.4	3.3
子どもたち一人一人の学力を伸ばすために努力している (児童：授業中、よく考えて、意見を発表できている)	3.8	4.3	3.7
宿題や家庭学習への取り組み方の指導を工夫し、習慣化を図っている (児童：宿題や家庭学習をしっかりとやっている)	4.5	4.3	3.6
読み聞かせや朝読書など読書活動の充実に努めている (児童：学校や家で本をよく読んでいる)	3.6	3.8	3.0
コンピュータやタブレットを授業に活用し、情報活用能力の育成に努めている (児童：コンピュータやタブレットを使う学習は楽しい)	4.9	4.3	3.9

教職員は一人一人の力を伸ばすためには、まだまだ授業の工夫や改善が必要であると感じている。生き生きと学習に取り組む児童を育てることを目標に、質の高い学びを目指して授業改善を進める。

家庭学習にしっかり取り組む児童が増え、習慣化も進んでいる。全児童の習慣化に向け、引き続き家庭と連携し、家庭学習の充実に努める。

朝読書の時間を活用して読書活動の充実に努め、読書好き児童を増やす努力をする。

児童は意欲的にタブレットを活用した学習に取り組んでいる。更に内容の充実に努める。

豊かな心の育成

	児童	保護者	教職員
一人一人を大切に学級づくりを進めている (児童：友達や先生と楽しく色々なことに挑戦している)	4.1	4.2	4.2
いじめや問題行動を見逃すことなく適切に指導している (児童：友達を助け仲間外れをせず、仲よく生活している)	4.5	3.9	4.1

継続した陰湿ないじめは認知されていないが、嫌な思いをした児童がまったくいないわけではない。「どんな理由があってもいじめは許されないこと」の指導を徹底し、児童とじっくり向き合っていく。

健やかな体の育成

	児童	保護者	教職員
体育の授業や遊びを工夫し、子どもたちの体力向上に取り組んでいる (児童：体育や休み時間に進んで体を動かしている)	4.2	4.2	2.9
望ましい食習慣・生活習慣、健康についての指導を積極的に進めている (児童：早ね・早起き・朝ご飯に気をつけて生活している)	4.1	4.1	3.3
安全教育や安全指導を進め、子どもたちに自他の生命を守る判断力と実践的な態度を育てる努力をしている (児童：きまりを守り自他の安全に気をつけて生活している)	4.6	4.1	3.9

教職員は体力向上を目指す授業改善が不十分だったと感じている。体力テストも筋力、持久力、走力に課題が残る結果となった。楽しく体力向上に取り組めるよう、取組の工夫・改善に努めていく。

基本的生活習慣の定着に向け、更に家庭と連携し、指導の徹底を図っていく。

引き続き、感染症対策の徹底を図りながら、安全教育・安全指導を進める。

信頼され開かれた学校づくり

	児童	保護者	教職員
面談や懇談、通信などを通じて教育活動の様子を積極的に伝えようとしている	—	4.4	3.5
面談や懇談、連絡帳や電話などを通じて子どもの様子を相談できるようにしている	—	4.1	4.0
教室や施設設備の整備・整理整頓を進め、安全・安心な教育環境づくりに努めている	—	4.1	4.2

教職員は、児童の様子を家庭に伝える努力がもっと必要であると感じている。コロナ禍で家庭と学校が思うように繋がれない状況が続いているからこそ、双方向の情報共有のために様々な工夫や努力で相談しやすい環境をつくる。

古い施設設備ではあるが、清掃や整理整頓を徹底し、児童の安全・安心を守る。